

# 編集後記

## 研究室短信

今年度の社会学研究室は、なんとといっても人文社会学系棟の耐震改修工事にもなう共同研究室・各教員の個人研究室・院生室の一時移転のための「引越し」作業に追われた激務の一年でした。今年度4月から本研究室出身の穂山新さんを特任研究員として新たに迎えることになりましたが、その一年間は文字通り「引越し」に忙殺されたものとなりました。

キャンパスから遠く離れた吾妻单身用宿舎に用意された臨時個人研究室は実質的な機能を果たせず、学生対応や事務作業は人社系棟にあてがわれた臨時共同研究室での「職員室」状態で乗り切らなければならなくなりました。作業工程表の十分な事前提示がないなかで応急対応に追われ、院生指導や研究面にさまざまな支障をきたし、院生も含めて多くのスタッフが疲弊することになりました。

また、今年度は全学規模での2学期(6モジュール)制への移行元年でもあり、とくに学類カリキュラム編成担当のスタッフには大きな負担が集中することにもなりました。そんななか、社会学主専攻の「アイデンティティ」といってもよい卒業論文の執筆に向けた専攻独自のカリキュラム「改革」として、従来の「社会学研究法」を大きく拡充し、リサーチ(調査方法)・リーディング・ライティングに対応した「社会学研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」という科目群が新設されました。卒論の質の向上という「効果」に直結するかどうかは今後を慎重に評価する必要がありますが、初年度を終えてたしかな手応えを感じています。

大きな負担と時間の浪費をともなった「引越し」作業ではありましたが、その過程で強いられた古い資料の整理、廃棄と保存の仕分けや、思わぬ「掘り出し物」との遭遇などは、筑波大学社会学研究室的の来し方と行く末を考えさせるに十分な共有体験ともなりました。今年度は大学院修士課程に多くの新入生を迎えたこともあり、「グローバル化」への対応が必至となった今日における「社会学」の研究教育のあり方を問い返しつつ、その新たな充実を図るべくスタッフ一同の模索は続いています。

\*

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻における修士論文の提出者と題目は以下の通りである。

秋本 光陽 「犯罪少年の家族に対する責任帰属の論理」

山田 理絵 「摂食障害はどのように語られてきたのか—新聞を中心とした通時的語りの考察—」

- 呉 海艶 「深圳市における外地人の帰属意識—都市ホワイトカラーの定着志向と流動志向からの考察」
- 白 露 「歴女の中の活動から見る現代女性のコミュニケーション作法」

平成25年度社会学研究室的各教員の学類および大学院において開設した授業科目は以下の通りである。(社会学類／大学院人文社会科学研究科)

- 全 教 員 = 社会の表象 — 社会学データ入門, 社会学入門 — 『繋がり』の変容を考える (いずれかを担当) / 社会学基礎理論
- 奥山 敏雄 = 社会学基礎論, 社会学研究法Ⅱ, 社会学演習Ⅱ a / 医療社会学Ⅱ, 医療社会学演習Ⅱ, 医療社会学特別演習Ⅲ
- 土井 隆義 = 社会統制論 - 犯罪社会学Ⅱ, 社会学研究法Ⅲ, 社会学演習Ⅶ a / 逸脱行動論Ⅱ, 逸脱行動論演習Ⅱ, 逸脱行動論特別演習Ⅲ
- 黄 順姫 = 文化社会学, 社会学演習Ⅴ a / 文化社会学Ⅱ, 文化社会学演習Ⅱ, 文化社会学特別演習Ⅲ, 大学院修士課程教育研究科にて, 文化社会学Ⅰ・Ⅱ
- 五十嵐泰正 = 地域社会学, 社会学研究法Ⅰ, 社会学演習Ⅳ a / 都市社会学Ⅱ, 都市社会学演習Ⅱ, 都市社会学特別演習Ⅲ
- 樽川 典子 = 家族社会学, ジェンダーと刑法, 社会学研究法Ⅰ, 社会学調査実習Ⅰ a / 家族社会学Ⅱ, 家族社会学演習Ⅱ, 家族社会学特別演習Ⅲ
- 野上 元 = 歴史社会学, 社会学研究法Ⅲ, 社会学演習Ⅰ a / 歴史社会学Ⅱ, 歴史社会学演習Ⅱ, 歴史社会学特別演習Ⅲ
- 森 直人 = 現代社会論, 社会学演習Ⅸ a / 労働社会学Ⅰ, 労働社会学演習Ⅰ, 労働社会学特別演習Ⅲ, 大学院修士課程教育研究科にて, 社会学演習Ⅰ・Ⅱ, 公民教育研究法Ⅰ・Ⅱ
- 葛山 泰央 = 現代社会学の系譜, 社会学研究法Ⅱ, 社会学外書講読Ⅰ・Ⅱ, 社会学演習Ⅲ a / 知識社会学Ⅱ, 知識社会学演習Ⅱ, 知識社会学特別演習Ⅲ

このほか学類では、卒業論文演習が各教員によって開講された。

他専攻所属の教員によって、社会学類および大学院で次の授業科目を担当していただきました。

- 海後 宗男 = コミュニケーション論 (比較文化学類と共通),
- 福原 直樹 = ジャーナリズム論Ⅰ, ジャーナリズム論Ⅱ (比較文化学類と共通),  
ジャーナリズム特別演習
- 仲田 誠 = 情報文化概論Ⅰ, 情報文化概論Ⅱ (比較文化学類と共通)
- 前川 啓治 = 文化・開発論 (国際総合学類と共通)

松村 和則 = 環境社会学 (体育専門学群と共通)

松村 和則, 清水 諭 = スポーツ社会学 (体育専門学群と共通)

今年度非常勤講師として、次の諸先生にご出講をいただきました。篤くお礼申し上げます。

稲葉 振一郎 (明治学院大学) = 理論社会学 I [社会学類]

植田 今日子 (東北学院大学) = 共生社会学 I [社会学類]

赤川 学 (東京大学) = 社会問題論 II [大学院人文社会科学研究科]

西野 淑美 (東洋大学) = 社会調査方法論 I [大学院人文社会科学研究科]

佐藤 恵 (法政大学) = 共生社会構想論 II [大学院人文社会科学研究科]

今年度の研究室の人事異動は次の通りである。( ) 内は前職などを示す。

平成25年4月 穂山 新 (茨城県立中央看護学校非常勤講師) 特任研究員に就任